

# 経営比較分析表

山形県 小国町

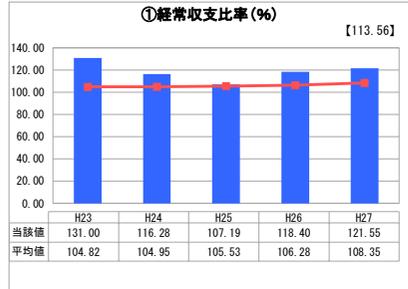
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A9
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.93	61.77	3,326

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,123	737.56	11.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,963	6.92	717.20

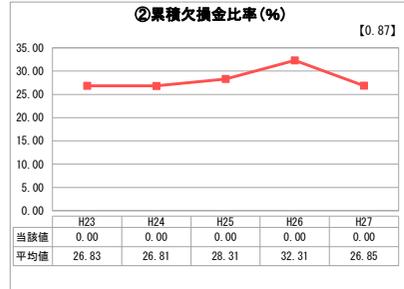
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

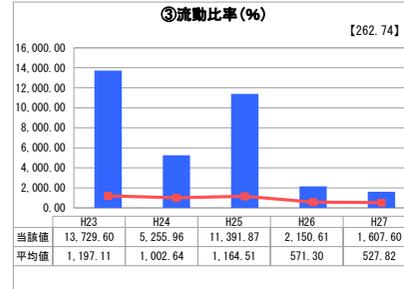
## 1. 経営の健全性・効率性



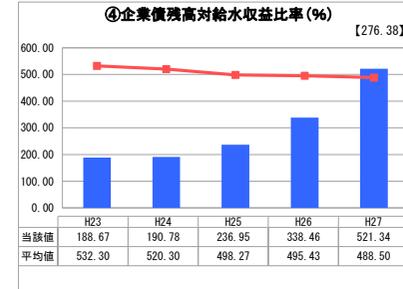
「経常損益」



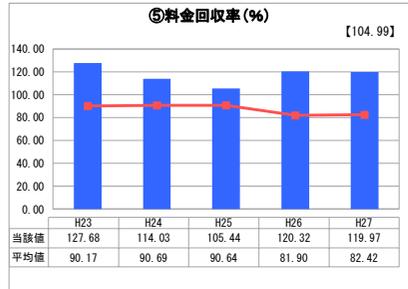
「累積欠損」



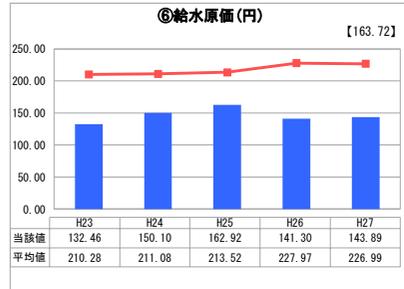
「支払能力」



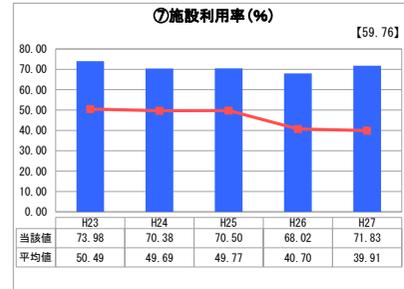
「債務残高」



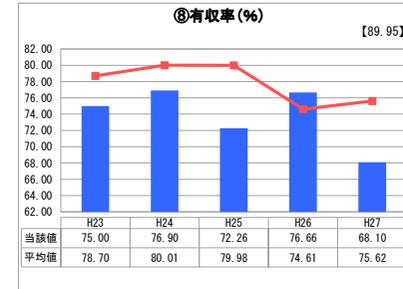
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

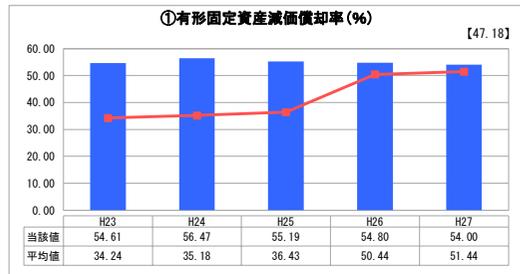


「施設の効率性」

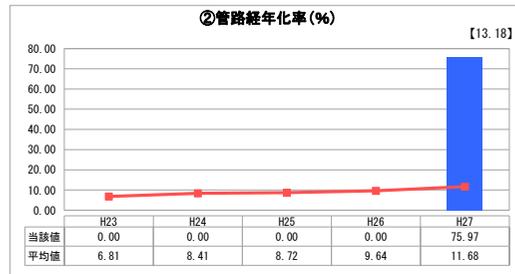


「供給した配水量の効率性」

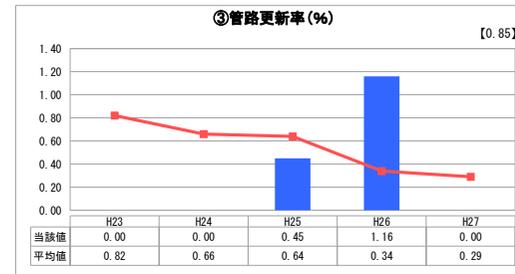
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

〈収益の分析〉  
累積欠損金もなく、経営収支比率は全国平均及び類似団体平均値を上回っており、料金回収率も前年度同様の回収率となっている。有収率は前年度に比べ若干減少しているものの安定した収益につながっている。

〈企業債残高の分析〉  
新水源、新配水地整備事業への投資のため借入した企業債により、対給水収益比率が上昇している。新事業への投資が来年度も継続するが、その後、新事業が終了することで上昇が抑えられようと考えている。

〈施設利用率の分析〉  
人口減少により給水人口が減少しているが、安定した施設利用率となっている。しかし、若干ながら有収率が減少していることから、原因を特定し有収率向上に努めたい。

〈経営の健全性・効率性〉  
新事業への投資のため企業債が増加しており、対給水収益比率が上昇している。  
施設利用率が上昇し、効率よく施設利用が行われ施設整備への収益も確保されている。有収率減少の原因を特定し有収率をあげるなど経営の健全性に努めたい。

### 2. 老朽化の状況について

現在の経営状況を踏まえ、新事業への投資を優先的に実施していることから、27年度における管路更新は未実施となっている。新事業終了後、計画的に管路更新を実施していく予定である。

## 全体総括

27年度は健全・効率的な経営になっているが、新事業実施のため企業債が増加している状況である。管路更新等、投資的事業については計画的に実施予定であるが、有収率向上など経営努力を行い、また、将来の経営安定に向けて料金改定等も検討する必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。